

2.6 干潟の形状調査(景観・利用状況)

2.6.1 干潟の形状調査

(1) 調査日程

干潟の形状調査は表 2.6.1.1 に示す日程で実施した。

表 2.6.1.1 干潟の形状調査の実施日

| | |
|------------|------------------|
| 平成 28 年度春季 | 平成 28 年 6 月 7 日 |
| 夏季 | 平成 28 年 8 月 4 日 |
| 秋季 | 平成 28 年 11 月 2 日 |
| 冬季 | 平成 29 年 1 月 11 日 |
| 平成 29 年度春季 | 平成 29 年 5 月 11 日 |
| 夏季 | 平成 29 年 8 月 23 日 |

(2) 調査測線

調査測線は図 2.6.1.1 に示す。

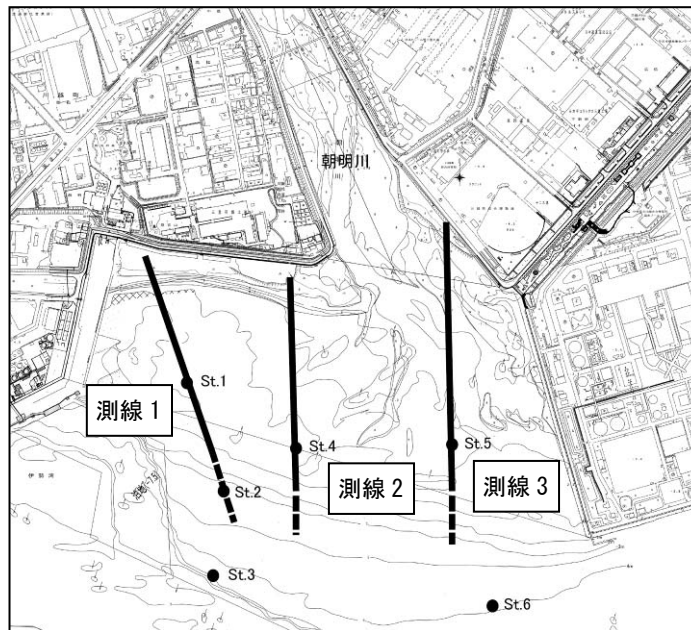


図 2.6.1.1 調査測線

(3) 調査結果

干潟形状調査結果を図 2.6.1.2 に示す。

測線 1 では、各季とも 40～60m 付近まで植生がみられ、平成 28 年度の春季から夏季にかけて 90～120m の斜面がやや海に向かって移動したが、その後、地形の変化はほとんどみられない。突堤の内側のやや窪んでいる部分 (250m～350m) 付近において泥の堆積によるとみられる、やや灰色がかった底質が分布している。それ以外は砂質であった。

測線 2 では、平成 28 年度春季から平成 29 年度春季まで 40～60m 付近に植生がみられた。

平成 29 年度夏季には 200m 付近にも植生が出現している。

平成 28 年度の春季から夏季にかけて 60～70m 付近の斜面が陸に向かって移動し、100～130m 付近の凸部の形状変化がみられるが、200～360m 付近の緩やかな凸部が 230～250m 付近の斜面に変化しているが、その後大きな地形変化はみられない。底質はやや黄色みが勝った砂質となっていた。

測線 3 では、各季とも 10～80m まで植生がみられ、やや黄色みがかった、砂質となっていた。

平成 28 年度の春季、夏季調査では干潟形状に大きな変化は認められなかった。秋季以降は橋の設置に伴う工事が実施され、地形的にも大きな変化がみられる。

平成 29 年度の春季、夏季において 400～500m 付近で砂の堆積傾向が認められる。

<工事による変化>

平成 28 年度の秋季には、河口部左岸で重機を用いた工事が行われており、測線 3 では 320m 付近に砂の凸部ができており、340m～420m 付近の干潟が低下している。



工事による砂の凸部(秋季)

平成 28 年度の冬季の側線 3 では、80m 付近、100m 付近、及び 290m～320m 付近に新たな凸部が出来ている。なお、工事区域内には立ち入っていない。



工事による砂の凸部(冬季)左岸工事区域上流端より撮影

平成 29 年度春季には、冬季に設置されていた仮設の工事用地等は撤去され、90～110m 付近に石積みが出現している。また、280m～300m 付近に新たな凸部が出来ている。



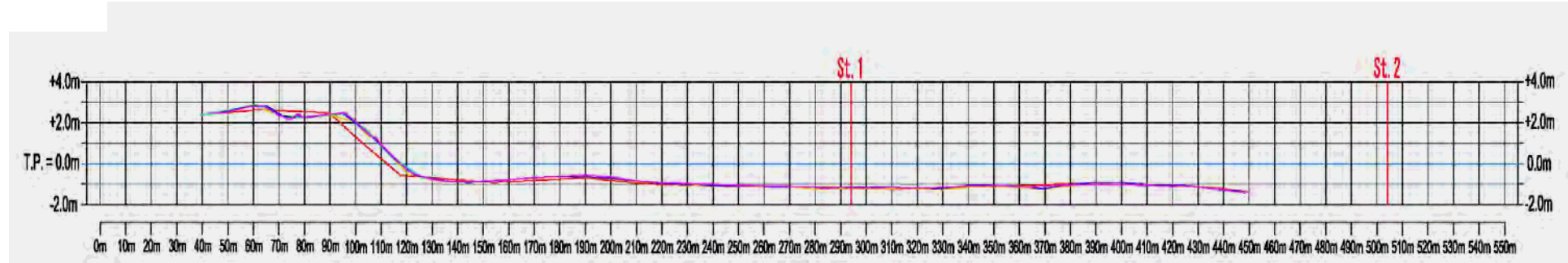
工事用地撤去後の状況(春季)左岸上流側より撮影

平成 29 年度春季には、5 月 10 日の鳥類調査時に、河口部左岸において希少種のハクセンシオマネキが確認された(詳細は 2.3 底生生物、2.3.2 調査結果、(2)重要種 参照)。

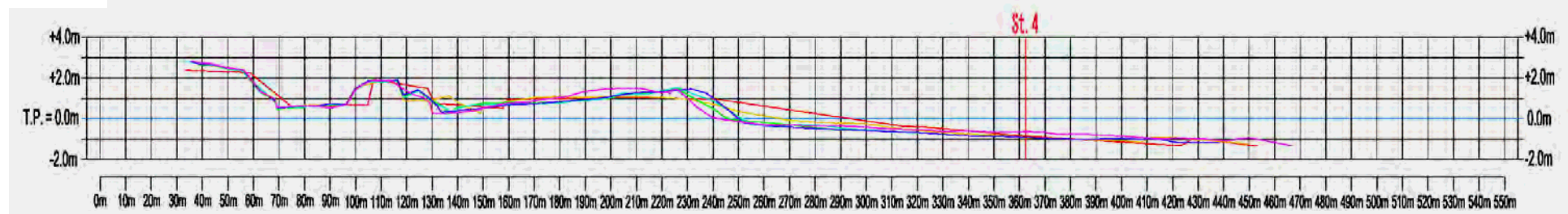
干潟形状調査 VRS-RTK測定断面図

H = 1/2000, V = 1/250 (A3)

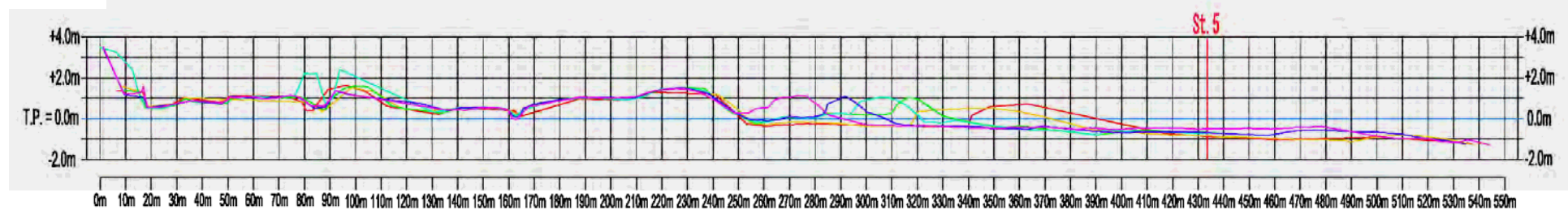
測線 1



測線 2



測線 3



凡例

- : 平成28年6月7日調査
- : 平成28年8月4日調査
- : 平成28年11月2日調査
- : 平成29年1月11日調査
- : 平成29年5月11日調査
- : 平成29年8月23日調査

図 2-6-1-2 干潟形状 (VRS-RTK)

2.6.2 干潟の景観・利用状況調査

(1) 調査日程

干潟の景観・利用状況調査は表 2.6.2.1 に示す日程で実施した。干潮時の潮位により干潟の見え方が異なるため、干潮時間と潮位も整理した。

表 2.6.2.1 干潟の景観・利用状況調査の実施日

| | | |
|----|------------------|-----------------|
| 春季 | 平成 28 年 5 月 23 日 | 干潮 13 時 潮位 17cm |
| 夏季 | 平成 28 年 8 月 3 日 | 干潮 12 時 潮位 17cm |
| 秋季 | 平成 28 年 10 月 3 日 | 干潮 13 時 潮位 64cm |
| 冬季 | 平成 29 年 1 月 10 日 | 干潮 10 時 潮位 85cm |
| 春季 | 平成 29 年 5 月 10 日 | 干潮 12 時 潮位 26cm |
| 夏季 | 平成 29 年 8 月 9 日 | 干潮 13 時 潮位 26cm |

気象庁潮位表より

<http://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/suisan/index.php>

(2) 調査位置

干潟の季節的な景観変化を把握するため、図 2.6.2.1 に示す地点より景観写真の撮影を行った。また、干潟の利用状況の把握及び写真撮影も実施した。

なお、景 2 においては、冬季調査では、工事の進捗により調査地点から干潟が見えなくなっていたため、調査地点を景 2.2 に移動した。



図 2.6.2.1 景観写真撮影位置

(3) 調査結果

① 干潟の景観

調査地点・季節毎の干潟の状況を、図 2.6.2.2～5 に示す。

【景 1】

各季を比較すると、砂浜の植生が平成 28 年度の夏季、秋季、平成 29 年度の春季にやや増加している程度で、景観に大きな変化はみられない。夏季には 8 月 7 日に台風第 5 号による日雨量 100mm を超える降雨が観測されており、海岸には大量のゴミが打ち上げられている。



春季(平成 28 年度)



夏季(平成 28 年度)



秋季(平成 28 年度)



冬季(平成 28 年度)



春季(平成 29 年度)



夏季(平成 29 年度)

図 2.6.2.2 景観写真(景 1)

【景 2】

各季を比較すると、平成 28 年度の冬季には工事により撮影地点を移動したため、砂浜の見え方がやや異なっているが、植生が平成 28 年度の夏季、秋季には植生がやや繁茂している。平成 29 年度の春季から夏季にかけては植生が繁茂し夏季には景観が遮られている。



春季(平成 28 年度)



夏季(平成 28 年度)



秋季(平成 28 年度)



冬季(平成 28 年度)



春季(平成 29 年度)



夏季(平成 29 年度)

図 2.6.2.3 景観写真(景 2)

【景3】

平成28年度の春季、夏季、秋季を比較すると、植生が夏季、秋季にやや増加している程度で、景観に大きな変化はみられない。

冬季には、河床工事が行われ、河道が平面化し、植生が消失するとともに、河口部には橋が出来つつある。

平成29年度の春季には橋が架かり、右岸側には砂州が形成されてきている。夏季には左岸の端付近に滞筋が形成されている。



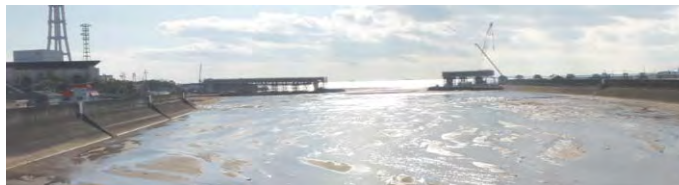
春季(平成28年度)



夏季(平成28年度)



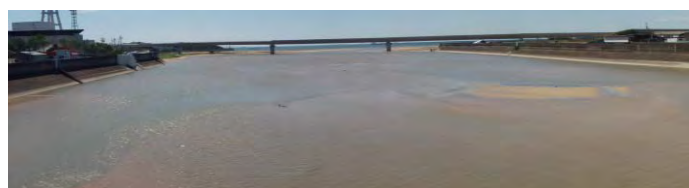
秋季(平成28年度)



冬季(平成28年度)



春季(平成29年度)



夏季(平成29年度)

図 2.6.2.4 景観写真(景3)

【景 4】

平成 28 年度の春季、夏季、秋季を比較すると、植生が夏季、秋季にやや増加している程度で、景観に大きな変化はみられない。

冬季には、工事が行われ、画面手前側の干潟が平面化し、橋脚が出来つつある。



春季(平成 28 年度)



夏季(平成 28 年度)



秋季(平成 28 年度)



冬季(平成 28 年度)



春季(平成 29 年度)



夏季(平成 29 年度)

図 2.6.2.5 景観写真(景 4)

【工事状況】平成 28 年度冬季

河口左岸上流では、砂の堤で囲われた、植生の保護区と思われる区画があるが、その他の植生は消失している。



河口左岸(上流より)

河口右岸上流では、砂の堤で囲われた区画があり、植生はすべて消失している。



河口右岸(上流より)

図 2.6.2.6 冬季工事状況(平成 28 年度)

b. 干潟の利用状況

季節毎の干潟の利用状況を、図 2.6.2.7 に示す。

《平成 28 年度》



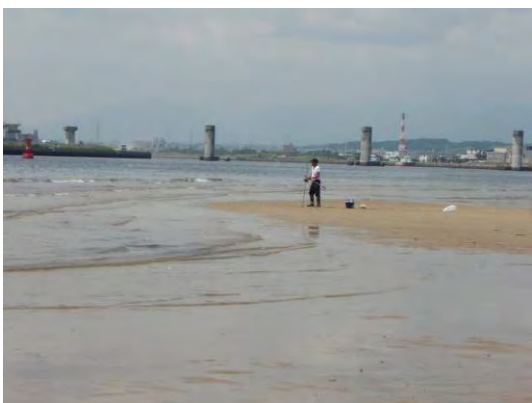
【春季】 大潮には多くの利用者が潮干狩りに利用しており、最干潮時には約 50 名を数えた



潮干狩り



海水浴(家族連れ)



釣り



ウインドサーフィン

【夏季】 大潮には潮干狩り、海水浴、釣り、ウインドサーフィン等に利用されていた

図 2.6.2.7(1) 干潟利用状況



【秋季】大潮には潮干狩りに利用されていたが、春季、夏季よりも利用者は少なく、数名のみであった。また、左岸河口部では土木工事が行われていた。



【冬季】大潮には潮干狩りに利用されていたが、秋季と同様利用者は少なく、数名のみであった。

図 2.6.2.7(2) 干潟の利用状況

《平成 29 年度》



【春季】大潮には多くの利用者が潮干狩りに利用しており、最干潮時には約 70 名を数えた



【夏季】大潮には多くの利用者が潮干狩りに利用しており、最干潮時には約 70 名を数えた

夏季には台風 5 号による出水のため、河川から流下してきたゴミが大量に堆積していた。
概略の堆積位置を図 2.6.2.8 に示す。



2.6.2.7(3) 干潟の利用状況

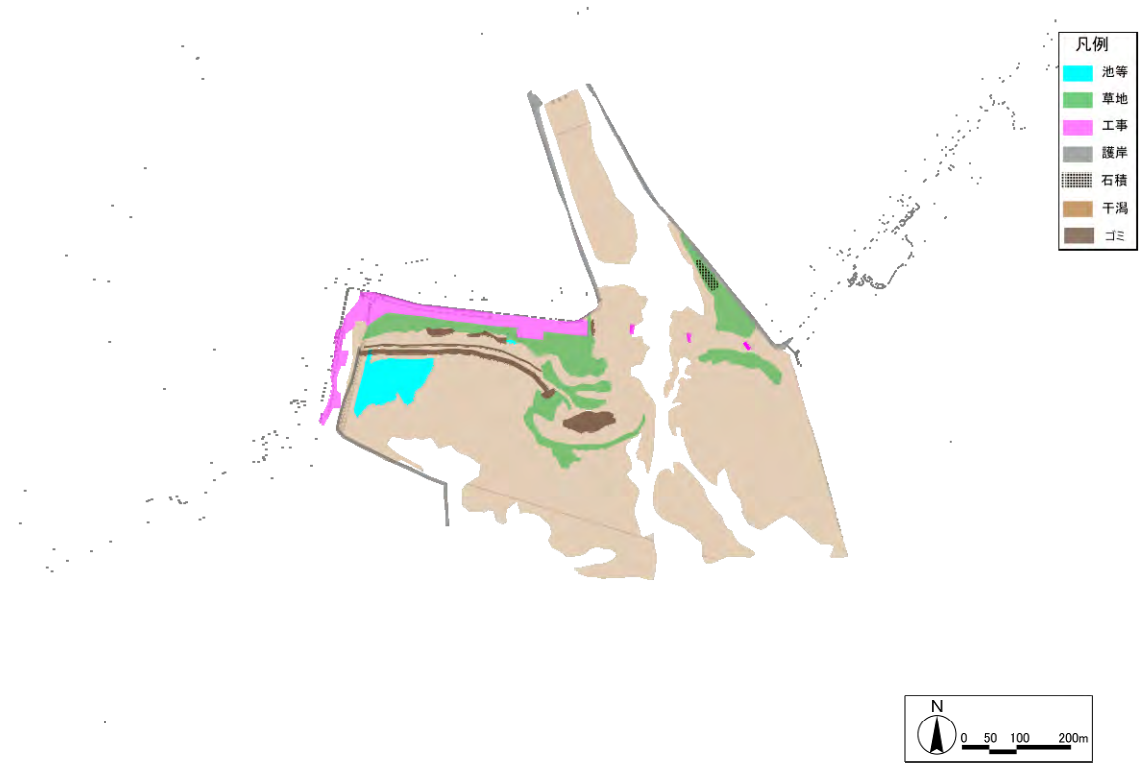


図 2.6.2.8 ゴミの概略堆積位置(图中●)